

衆議院外務委員会ニュース

平成 29.5.17 第 193 回国会第 15 号

5 月 17 日（水）、第 15 回の委員会が開かれました。

- 1 ①投資の促進及び保護に関する日本国政府とケニア共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 11 号）
②投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とイスラエル国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 12 号）
③社会保障に関する日本国とスロバキア共和国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 13 号）
④社会保障に関する日本国とチェコ共和国との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（条約第 14 号）
- ・岸田外務大臣、菫浦外務副大臣、小田原外務大臣政務官、小林防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・①及び②に対し、宮本徹君（共産）が討論を行いました。
 - ・①及び②についてそれぞれ採決を行った結果、いずれも賛成多数をもって承認すべきものと決しました。（賛成－自民、民進、公明、維新、自由 反対－共産）
 - ・③及び④についてそれぞれ採決を行った結果、いずれも全会一致をもって承認すべきものと決しました。（賛成－自民、民進、公明、共産、維新、自由）

（質疑者及び主な質疑内容）

石 関 貴 史君（民進）

- ・スロバキア及びチェコとの社会保障協定交渉において、我が国の社会保障制度と相手国の社会保障制度はどのように調整されたのか。
- ・スロバキア及びチェコ以外の V 4 諸国（ハンガリー及びポーランド）との社会保障協定への取組について伺いたい。
- ・在スロバキア及び在チェコの日本大使館は有事を想定した在留邦人保護のためのシミュレーションを実施しているのか。

寺 田 学君（民進）

- ・イスラエルは、その有する技術や投資環境は魅力的である一方で、入植地の問題について、懸念の声が上がっているが、今回、同国と投資協定を結ぶ意義を伺いたい。
- ・日・イスラエル投資協定上のイスラエルの領域に、同国が国際法違反の入植活動を行っている入植地は含まれているか。
- ・入植地でビジネスを行うイスラエル企業も、今回の投資協定で恩恵を受けることとなるか。

宮 本 徹君（共産）

- ・我が国からの一時派遣被用者についてチェコで社会保険

料の免除が認められない問題が発生している理由は何か。

- ・我が国が締結している他の社会保障協定の相手国の中で、チェコと同様の問題が発生している国はあるか。
- ・スノーデン・ファイルには在日米軍横田基地に関する機密文書など我が国の国家主権に係る重大な情報が含まれているにもかかわらず、政府が米国に対して確認を求めない理由は何か。

足 立 康 史君（維新）

- ・投資協定や社会保障協定を多国間で結ぼうという政府の努力はあったか。
- ・投資協定や社会保障協定は、内容が極めて事務的であり、国会承認を不要にしたいと考えるが、これらに関して、岸田外務大臣が政治判断を求められた事項はあったか。
- ・我が国に輸入されている砂・砂利・砕石の用途について実態が不明とのことであるが、これについて調査をお願いしたい。

岡 本 三 成君（公明）

- ・我が国は、1970年代、キューバにとって西側諸国の中で最大の貿易相手国であるなど同国との関係が深いが、同国との投資協定交渉はどのように進められているか。
- ・中国との社会保障協定の交渉が相当の時間を要している理由と今後の見通しについて伺いたい。

- ・我が国のミサイル防衛システムの能力向上については、北朝鮮のミサイル開発のスピードと齟齬が生じないように、中期防衛力整備計画を前倒しするなど早期に実現すべきではないか。

熊田裕通君(自民)

- ・両投資協定は、いずれも首脳外交の結果、署名の運びとなったが、両協定の意義及びアフリカ・中東諸国との今後の投資協定の締結見通しを伺いたい。
- ・ISDS（投資家対国の紛争解決手続）条項が両投資協定にも盛り込まれているが、これらにより我が国の国益は損なわれないという認識でよいか。
- ・我が国の社会保障協定の今後の締結方針について伺いた

い。

玉城デニー君(自由)

- ・日・ケニア投資協定が「保護型」の協定となり、日・イスラエル投資協定が「自由化型」の協定となったそれぞれの経緯を伺いたい。
- ・両投資協定に、アンブレラ条項（義務遵守条項）を盛り込むことができなかった特段の理由は何か。これによる投資家の不安についてはどう対応するか。
- ・チェコで発生している一時派遣被用者の保険料の二重払いの問題は、日・チェコ社会保障協定の締結当初から発生していたのか。